

ダンゴムシ ひのみつ

3年2組 村上 純菜

どうき わたしは、花をうえかえる時に思いました。なぜダンゴムシははちの下にたくさんいるのだろう？どんな物を食べているのだろうと思い調べる事にしました。

目てき ダンゴムシの好きな場所やどのような活動をしているのかをダンゴムシをつかまえて、ようきの中でかんさつしました。

よそう ダンゴムシはくらくてしめったうえきはちの下にいたのでくらくてしめった所をこのむと思います。またくらい所にある植物をたべていると思います。

材料

- ・ダンゴムシ(30匹き)
- ・シャーレやプラスチックトレー
- ・えさ(キャベツ、キュウリ、おち葉など)

方法

ダンゴムシをいろいろなじょうけんに
おいて、どちらをこのむかを調べます。

A: 暗い所と明るい所ではどちらがすきか

B: 暗い所と明るい所でえさの食べる量はかわ
るか

C: 古い葉と新しい葉では、どちらがすき
か

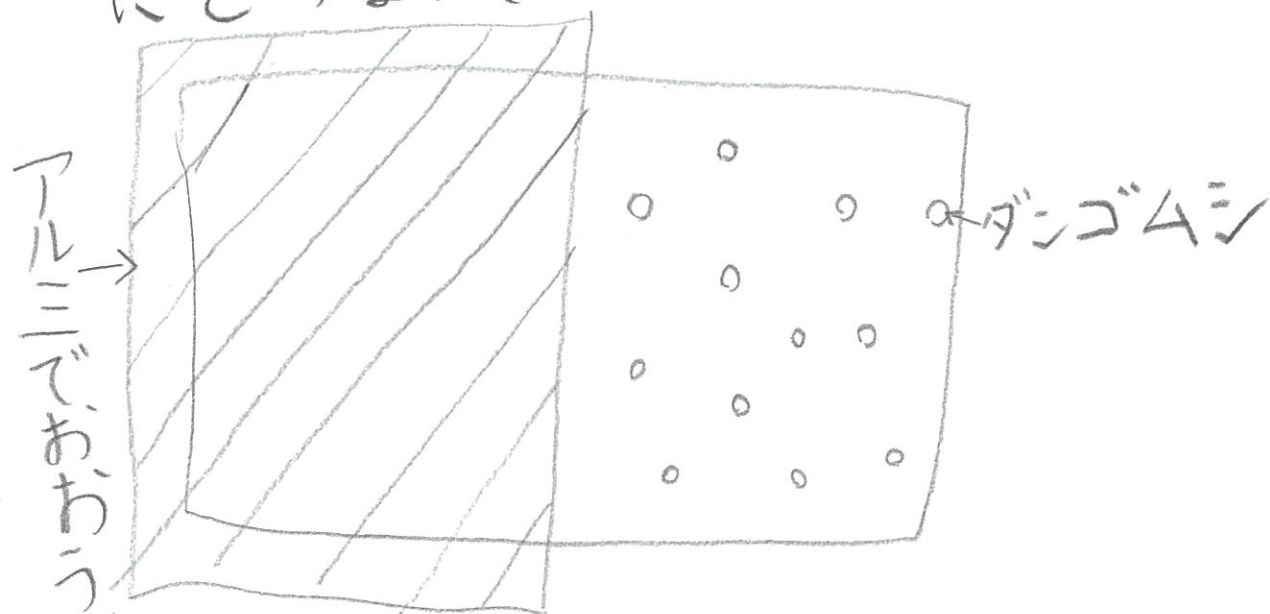
D: しめった所とか乾いた所ではどちらが
すきか

E: きれいな所とふんでよごれた所では、
どちらがすきか

実験A

暗い所と明るい所ではどちらがすきか。

トレーにダンゴムシを30匹き入れてアルミホイルで半分おおい、くらくして1時間後にどうなっているのかを調べました。



けっか



くらい所にたくさんのだんごむしがあつまりました。

こうさつ 明るい所よりも暗い所をのむ事がわかった。いつもえきはちの下にいるのは暗い所がすきだからだと思います。

実験 B

暗い所と明るい所でえさの食べる量はかわるだろうか。

1つのシャーレに10匹のダンゴムシとえさ(キュウリ、キャベツ)を入れ、1つはアルミホイルでおい、もう1つは明るい所に5日間おいておきました。



アルミホイルでおい



1日目



2日目



暗い

明るく

3月



4月



5月



ひか



けっか

明るい所と暗い所の食べるリょうは、
ほぼ同じだった。でもふんのリょうを見ると、
明るい所のほうがタライのような感じがした。

こうさつ

暗い所にいつもいるので、暗い所の方がたくさん
食べると思っていたが、明るい所でもいいかと
たくさん食べていた。もし、ちがうえさで実けん
をしていたら、けっかがちがったかもしれない
と思いました。

実験C

かれた葉と新しい葉では、どちらがすきだろうか。

シャーレにシマトネリコというしゅるいのかれ葉と新しい葉を
ダンゴムシ10匹きを入れ、5日間おいておきました。

1日目



⇒ かれた葉の所にダンゴムシが
あつまってきた。

2日目



⇒ かれた葉を食べ始めた。
新しい葉はまったく食べていない。

3日目



⇒ やはりかれた葉ばかり食べて
新しい葉はぜんぜんきょう味を
しめさない。

4日目



⇒ 1枚のかれ葉を食いつくした。
ふんのりょうも1日目とくらべると
とても多い。

5日目



⇒ かれ葉をほとんど食いつくし、
かれ葉の所にたくさんふんがのこ
た。

けっか

かれた葉ばかり食べて、新しい葉はまったく食べなからた。実けんBではキャベツとキュウリをつかったが、同じ5日目くらべると、ふんのりょうは、かかれ葉の方がとても多かった。

こうさつ

同じしゃるいの葉なのに、なぜかかれ葉しか食べないのか、何かおいしいにווいで"もするのかな？
とふしぎに思いました。

実けんBも生やさしいだったのであまり、食べなからたんだと思ひました。もし、実けんBもかかれ葉でやっていたら、さがでていたかもしれない。

実験D

しめった所とかわいた所ではどちらがすきだろうか。

トレーを半分に分け、半分はしめらせたティッシュをしき、半分はかわいたじょうたいにしたまま、ダンゴムシを30匹入れ1時間ほどおきました。

① ほどよくしめらせたティッシュをおく

② ほとんどにひたしたティッシュをおく

①



↑
かわいた所

↑
ほどよく
しめった所

②



↑
かわいた所

↑
ほとんどに
ぬれた所

け、か

かわいた戸よりもほどよくしめった所にあつた。
あつた。でも、ほとほとにぬれた戸よりも、
かわいた戸のほうにあつた。

こうさつ

ダンゴムシは、ほどよくしめった所が
すきた。だが、ほとほとの所は、すきでは
ないようだ。

大雨のときなど、あまり土也面がぬれると
木にのぼったりしているのはそのせいだ
と思います。

実験E

きれいな所とよごれた所ではどちらがすきか。

はこを半分に分け、ふんでよごれた方ときれいな方に分けて、ダンゴムシを30匹き入れ、2時間おいておきました。

スタート時



2時間後



ばらばらにこうしている

けっか

ふんの方にあつまっている

ダンゴムシは、ふんでよごれた方に多くあまりました。

こうさつ

ダンゴムシはわたしたちとちがってきたない方がすきなので、"い外で"び、くりしました。
ふんがあるほうがなかまのにおいがして、おちつくのかな?と思いました。

感想

なぜ、うえきはちの下にいるのかは、ダンゴムシがぐらくて、すこししめった所がすきだからだとわかりました。

また、ダンゴムシが「森のそうじ屋」といわれているとおり、かれ葉を食べて土にしている事が、この実験をしてわかりました。
わたしがつけた、ダンゴムシの名前、

「森のリサイクル屋さん」



まるくなったダンゴムシ。こうして、てきから身を作る。